

経営比較分析表（令和6年度決算）

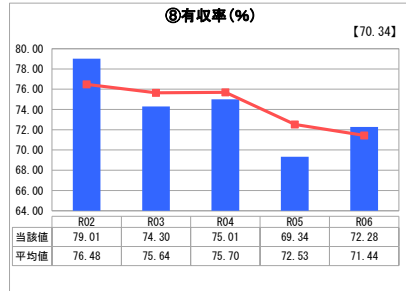
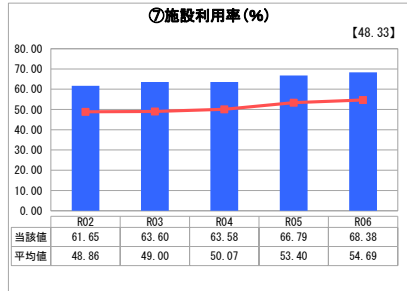
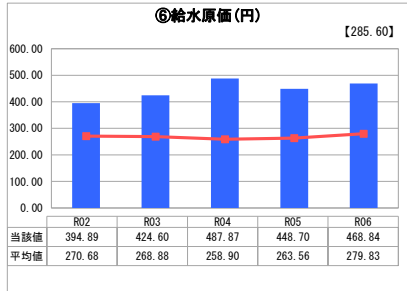
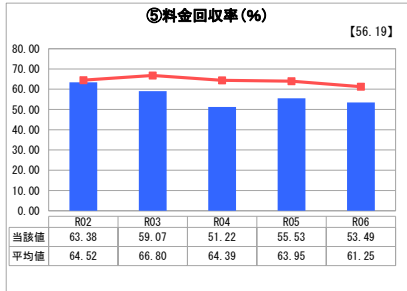
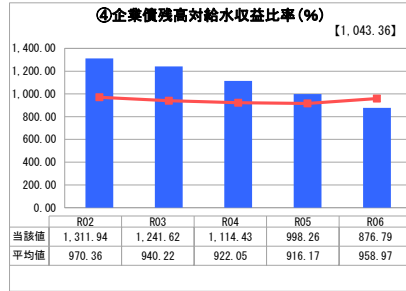
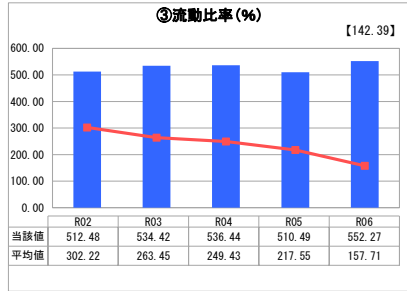
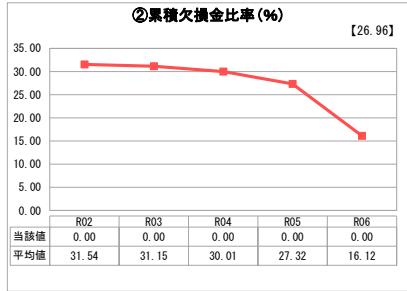
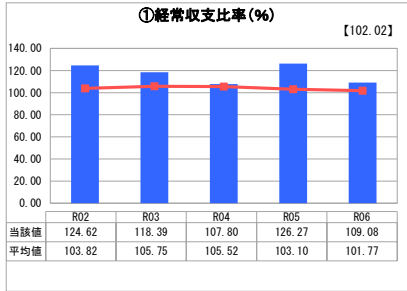
千葉県 香取市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	70.82	3.60	4,730	

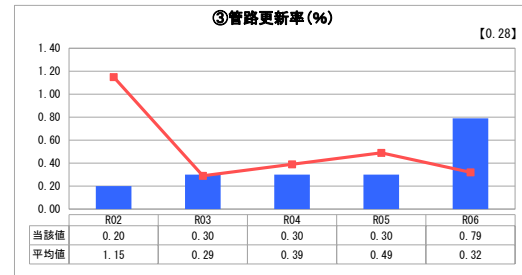
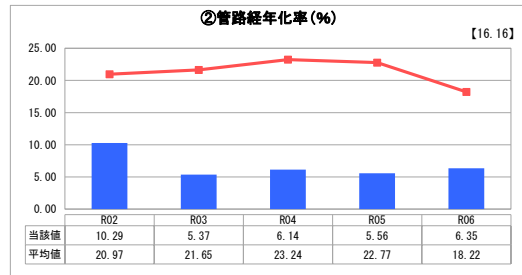
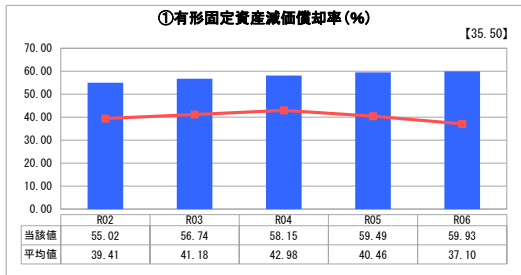
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
69,575	262.35	265.20
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,488	29.05	85.65

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、営業外収益の減少及び営業費用の増加により前年より低下しましたが、基準となる100%を上回り、また類似団体の平均値より高い数値となっています。

②累積欠損金比率は、累積欠損金が存在しないため該当なしとなっています。

③流動比率は、流動負債の減少により前年度から上昇しており、基準となる100%を大きく上回っているため、短期支払能力は問題ありません。

④企業債残高対給水収益比率は、企業債残高の減少から前年度数値より低下し、類似団体の平均値を下回りました。

⑤料金回収率は、給水原価の増加などにより前年度より減少しており、また100%を下回っているため、給水費用を給水収益以外の収益で賄っている状態が継続しています。

⑥給水原価は、経常費用の増加もあり前年度より増加しております。また、依然として類似団体の平均値より高い数値となっています。

⑦施設利用率は、配水量の増加に伴い前年度より増加する結果となりました。類似団体の平均値に対しても高い値であり、事業に対して適正規模の施設であるといえます。

⑧有収率は、微増に留まった配水量に対して有収水量が増加したため、前年度数値より上昇しました。今年度は類似団体の平均値を上回っていますが、過去5年と比べると依然低水準であるため、引き続き数値の改善に努めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、昨年度より上昇し、類似団体の平均値も上回っているため、固定資産の更新時期に入っているともいえ、適正な更新計画立案や裏付けとなる財源確保が必要です。

②管路経年率は昨年度より上昇しましたが、依然類似団体の平均値を下回っています。

③管路更新率は、管路更新延長の増加により大きく上昇し、類似団体の平均値も上回っております。安定した水の供給を図るため、更新を進める必要があります。

全体総括

1. 経営の健全性・効率性
経常収支比率及び累積欠損金比率から短期的な支払い能力には問題ありませんが、料金回収率が100%を下回っており、給水収益だけで賄っている状況とはいえない状態が続いています。施設利用率及び有収率は改善傾向にあるため、計画的な管路の整備と効率的な運用を推し進めながら、上水道との統合による事務費等の諸経費圧縮など、更なる収益の改善を図る必要があります。

2. 老朽化の状況
有形固定資産減価償却率が微増傾向にあり、管路の更新時期が近づいていますが、管路経年率及び管路更新率は比較的良好な数値であるため、今後も更新を推し進め、安定した水道供給を継続する必要があります。